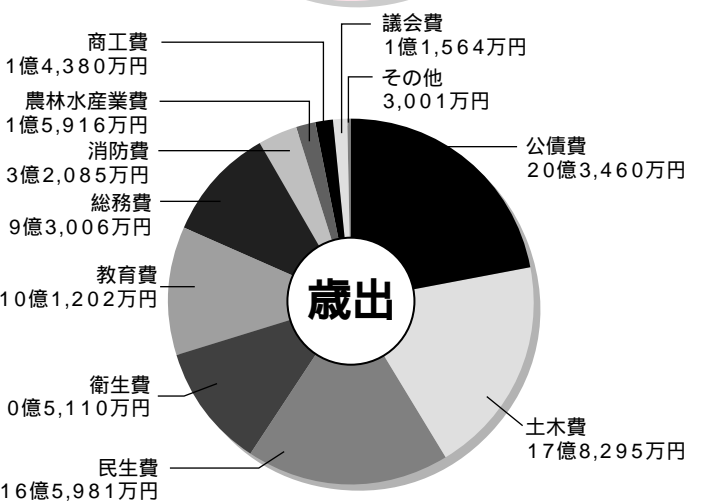
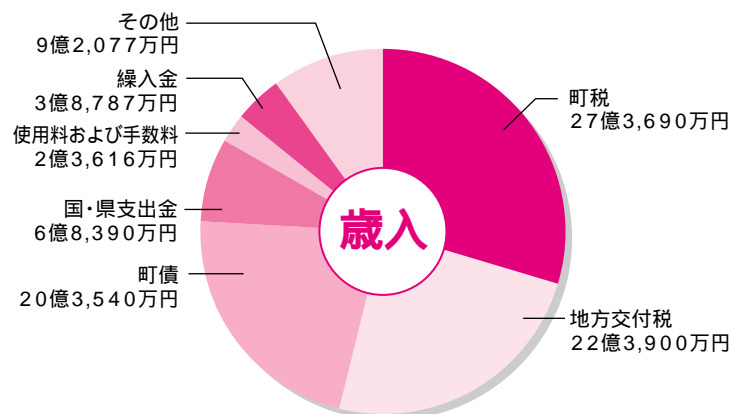


財政用語辞典
(歳入)

町税 みなさんから納めていただく町民税や固定資産税など。
 地方交付税 所得税など国が徴収する税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金。
 町債 大きな事業をおこなうために、国や県、金融機関から借り入れるお金。
 国・県支出金 特定の事業の財源として国や県から交付されるお金。
 使用料および手数料 町の施設を使ったり、住民票などの交付にみなさんが支払うお金。

繰入金 各会計・基金等間で出し入れするお金。
 その他内訳
 地方消費税交付金 地方消費税(消費税5%のうち1%)の中から交付されるお金。
 地方特例交付金 減税にともなう財源不足を補うために国から交付されるお金。
 分担金および負担金 特定の利益を受ける人から徴収するお金。

一般会計・歳入92億4,000万円



一般会計・歳出92億4,000万円

財政用語辞典
(歳出)

公債費 町債(借入金)を返済するために支払うお金。
 土木費 J R法隆寺駅周辺整備や道路などを整備するために使うお金。
 民生費 福祉サービスなどに使うお金。
 衛生費 ごみ処理などに使うお金。
 教育費 幼稚園・学校の運営や、公民館など、教育の振興のために使うお金。

総務費 町の総合的な管理経費や自治振興などに使うお金。
 消防費 防火設備の整備、消防団運営などに使うお金。
 農林水産業費 農業振興や土地改良事業などに使うお金。
 商工費 商工業の振興、観光事業などに使うお金。
 議会費 議会運営のために使うお金。

平成16年度 会計別予算

会計名	予算額	増減率 (対前年比)
一般会計	92億4,000万円	10.3%
特別会計	66億4,806万円	0.5%
特別会計の内訳		
国民健康保険事業	21億8,180万円	6.4%
老人保健	19億646万円	8.2%
大字龍田財産区	450万円	3.8%
公共下水道事業	14億590万円	2.0%
介護保険事業	11億4,940万円	3.7%
企業会計 (水道事業)	12億4万円	8.0%
総合計	170億8,810万円	6.1%

みんなの笑顔のために使います

平成16年度

予算



「人にやさしいまちづくり」をめざす斑鳩町。生まれたばかりの赤ちゃんからお年寄りまで、町内に住むすべてのみなさんが笑顔で暮らせるまちづくりをめざして、いろいろな施策をすすめています。これらの施策をすすめていくための平成16年度の予算が、3月議会で審議され、可決されました。今年度は、福祉、保健、医療、環境などに対応しつつ、道路整備やJ R法隆寺駅周辺整備、貴重な遺跡整備等の諸施策について、限られた財源を有効に活用しながら、「町民憲章」の精神のもと、人にやさしいまちづくりをすすめていきます。

町の予算って？

町の予算というと、何だかわかりにくい気がしますが、町を大きな家庭と考えると、予算は家計ということになります。すると、おとうさんやおかあさんの給料など入ってくるお金は、町では歳入となり、みなさんの税金や国からの交付金などがそれにあたります。また、光熱水費や食費など支出するお金は、歳出となります。町の予算は大きく分けて、一般会計と特別会計、企業会計に分かれます。(左表参照)一般会計は町の中心部分をまかなう会計で、大部分の事務・事業はこの予算でおこなわれます。また、国民健康保険事業、老人保健、公共下水道事業など保険料や使用料などの特定の収入で事業をまかなうのが特別会計、水道事業のようにその収益でまかなう事業は企業会計でおこないます。

今年も厳しい！

今年度の予算の内訳は左ページの図のようになりました。今年の財政状況は、歳入の大きな柱である町税の収入は長引く景気低迷から大きな伸びは期待できません。さらに、地方交付税の減額などにより、これまでにない厳しい状況にあります。その一方、扶助費は、少子高齢化がすすむなか、引き続き増加しています。そして、J R法隆寺駅周辺整備をはじめとする都市基盤の整備、教育への取り組み、住民の健康対策、環境問題への対応、その他各分野での歳出が確実に増えています。限られた予算のなかで、やらなければならない事業はたくさんあります。少ない投資で大きな成果が上がるように、職員一人ひとりが創意工夫をしながら、行政サービスの向上をめざし積極的に取り組んでいきます。

1 歴史と文化を大切にし、貴重な遺産の次世代への伝承

- 日本最初の憲法である「憲法十七条」制定1400年記念事業をおこないます。
- 「木造世界遺産」をもつ市町村と連携し共同でフォーラムを開いたり、観光モデルコースの調査研究をおこないます。
- 史跡藤ノ木古墳や史跡中宮寺跡の保存と活用を目的とした史跡公園の整備をすすめます。



聖徳太子の精神を再認識し、広く発信するため記念事業をおこないます。

歴史的資源の活用を通して、身近に歴史を感じられるよう史跡中宮寺跡の整備をおこないます。



2 人にやさしい道づくり

- 町の玄関口にふさわしい駅前広場や駅舎の整備をすすめるため、駅舎橋上化の設計等をおこないます。
- 法隆寺周辺の斑鳩らしい風景・景観をまもるため、都市計画道路法隆寺・藤ノ木線の整備（路面整備等）をおこないます。
- 都市計画道路法隆寺線等の整備をすすめます。



整備がすすむ都市計画道路法隆寺線

誰もが安全に安心して利用できる駅前広場、駅舎の整備をおこないます。

今年一年、いろいろな事業に取り組みます

予算は、1年間の「まちづくり」の方向を決める大切なものです。斑鳩町のまちづくりの基本理念である「人にやさしいまちづくり」をめざし、常に住民の視点にたって今年度も引き続きさまざまな事業に取り組みます。



3 人にやさしく、ともに生きる福祉のまちづくり

- 「健康いかるが21」にそって高血圧・脳卒中の予防に取り組みます。
- 子どもの虐待が社会問題になっているなか、愛情をもって安心して子育てができるよう相談体制の充実に努めます。
- 福祉制度の改正にともない、福祉サービス（高齢者・障害者・子育ての3分野）についてのアンケート調査結果に基づいて、住民サービスの質の向上をめざします。
- 保護者のニーズに対応するため、乳児保育・延長保育等の特別保育事業を取り入れ、園庭開放や家庭支援講座等をと



おして地域での子育て支援の充実に努めます。

わんぱく保のニョリで広場者コミュニオンをします。



子どもを安心して産み育てる環境づくりとして長時間保育等をおこないます。



高齢者の自立支援のための教室（男の料理教室）を開きます。

4 新しい制度への対応

- 支援費サービス制度をはじめ、引き続き障害者の自立支援の充実をおこないます。
- 転入・転出手続きの簡素化、広域的な住民票の写しの交付

住民基本台帳カードの発行をおこないます。住民サービスの向上を図ります。



自宅のパソコンから行政機関へ申請や届出ができる仕組みづくりをすすめます。

5 持続発展が可能な循環型社会の形成

- 地球環境問題の解決は個人レベルでの取り組みが大切です。そのなかでも家庭での取り組みは最も重要であると考え、昨年に引き続き「エコいかるがファミリー」を募集し、「家庭版環境ISO」に取り組みます。



ケナフの栽培を通して地球温暖化の防止を考えます



循環型社会の形成に向けて粗大ごみのリクエスト収集をおこない、ごみ減量化をすすめます。

まだまだあいまち

予算の使い道

- 小中学校の老朽化した机やいすを順次新しく交換します。（647万円）



- 「難読」といわれる町村名をもつ自治体が集まって、行政が取り組むべき課題について意見交換などをおこなう「全国難読町村サミット」が斑鳩町で開かれます。（300万円）
- 高齢者のみなさんが要介護状態におちらないように日常生活の自立支援教室を開きます。（29万4千円）
- 平成17年度の一部使用開始に向けて公共下水道工事をすすめます。（9億5,256万円）



- IT基礎技能の早期普及のため、パソコン講習会やサポートデスクを設置します。（585万円）